「年頭のご挨拶」

国民健康保険中央会
会長　鈴　木　俊　一

新年あけましておめでとうございます。

平成２１年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国の医療保険制度は国民皆保険のもと、誰もが安心して医療を受けることができる医療制度の構築と、質の高い保健医療水準の達成により、世界最長の平均寿命を実現してきたところでございます。

しかしながら、昨今の経済状況は、世界経済の減速に伴い景気後退局面に入り、国及び地方は一段と厳しい財政状況となっております。

さらに、本格的な少子高齢化、労働環境の変化などが相まって、医療保険制度をはじめとした社会保障制度全般に大きな影響を与えることとなり、その運営は厳しくかつ困難な多くの課題に直面しております。

このような状況を踏まえ、国においては、持続可能な社会保障制度を目指し、平成１２年の介護保険制度施行をはじめ、１６年には年金制度の見直し、１７年は介護予防などを柱とした介護保険法の改正、そして、１８年には国民皆保険を堅持し、将来にわたり持続可能なものとするための医療保険制度改革が行われたところであります。これにより後期高齢者医療制度や特定健診・特定保健指導などが始動し、我が国の医療保険制度は、いわば新しい局面を迎えたところでございます。

国保中央会といたしましては、本年も引き続き関係する諸制度の安定的な運営に寄与するため、各種事業に全力で取り組んで参りますので、皆様方におかれましては変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

そして、全ての国民が給付の平等と負担の公平のもと、安心して医療を受けられる国民皆保険を堅持していくため、念願である医療保険制度一本化の実現に向けて、都道府県国民健康保険団体連合会をはじめ全国市長会、全国町村会などの関係団体の皆様と連携を図りながら、これまで以上に努力を続けていく所存であります。

新しい年が明るく、実り多き一年になることを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成２１年　元旦